

# やまなみハイウェイと土木遺産めぐり

～阿蘇・くじゅうの大自然～



やまなみハイウェイ・飯田高原

### よかとこ

いっぱいあるけん  
遊びにこんね!



阿蘇市のキャラクター

### あか牛くん

のんびりした、ゆる〜い性格で  
阿蘇のおいしい草が大好きです。

### 草原の美しさを守るために、 毎年、行われること、 知っていますか？

草原は放っておくと、少しずつ藪や樹木が増えるため、毎年、春先に枯れた草を燃やす「野焼き」が行われます。すると、その焼け跡から柔らかい草が一斉に芽吹いてきます。

こうして、やまなみハイウェイ沿線の草原の美しさは、昔から人の手で守られているのです。

約27万年前、活発な活動を開始した阿蘇火山は、九州の大きな魅力です。

雄大な草原の広がり、勇壮な噴煙を噴き上げる活火山。この静と動の鮮やかな対比が、訪れる人々の心を惹き付ける魅力となっています。

九州中部の阿蘇地域に位置する阿蘇カルデラは、東西約18km、南北約25kmもあり、面積は約350km<sup>2</sup>、世界最大級のスケールです。約27万年前に活動を開始した阿蘇山は、約9万年前に4回目の大噴火を起こします。この噴火の火砕流は島原、天草、山口にまでおよび、北海道では約10cmの火山灰の堆積が確認されています。



## やまなみハイウェイ

### 阿蘇と別府を結ぶ、 爽快な高原ドライブコース

阿蘇市一の宮町から別府市を結ぶ、総延長約90kmを超える幹線道路がやまなみハイウェイです。

緑の高原地帯を走る道路は、日本で最初に指定された国立公園の一つである阿蘇くじゅう地域において、交通面でも重要な役割を果たしていますが、爽快でダイナミックな眺望が連続する九州屈指のパノラマロードでもあります。

くじゅう連山や阿蘇五岳(あそごかく)といった山々と、なだらかに広がる高原が織りなす景色は、他では味わうことのできない美しさとスケールを兼ね備え、毎年、数多くの観光客がこの地を訪れています。

さらに、やまなみハイウェイの沿線には内牧・黒川・湯布院・別府など多彩な温泉が点在していることも、人々を魅了する理由の一つとなっています。



阿蘇パノラマライン  
麓から阿蘇中岳の山上広場に至る山岳道路。絶景連続の3コースがあります。



### 東京オリンピックと同じ昭和39年、 注目の有料道路として全線開通

昭和31年(1956)に日本道路公団が発足し、その最初の仕事が、道路は無料というそれまでの常識を覆した「一般有料道路」の建設でした。

我が国で最初に指定された国立公園の美しい山岳・高原風景をドライブして楽しめる目的で選ばれたのが、霧島、雲仙、くじゅう・阿蘇の山岳道路でした。

くじゅう・阿蘇(のちのやまなみハイウェイ)の着工は昭和36年(1961)。最新の大型重機を導入し、安全と効率を追求した工事手法は、後に続く高速道路建設に備えたものであり、昭和39年(1964)全線開通を迎えました。

### 山岳地の寒冷と火山灰土に苦戦。 この難工事を技術と知恵で克服

牧ノ戸峠の標高は1,330mであり、やまなみハイウェイの最高地点です。これほどの山岳地帯の道路建設のため、零下17度の厳寒、深さ30cmの凍結土、長さ1mのツララ、さらに積雪などの困難が続きます。浸透した水が凍結して膨らみ、道路面、側溝、のり面の崩壊の繰り返しです。

しかも、一帯は阿蘇の火山灰土が堆積した地質であり、含水率の高い黒ボク土が重機作業をはばみ、多孔質でもろいボラは土壌改良が必須です。直面した課題を最新の知見で乗り越えながら進む工事の連続でした。



冬の阿蘇パノラマライン

観光バスによる団体旅行から、マイカーによる周遊観光へ、観光のスタイルも新しい時代を迎えていました。

安全に車を運転しながら景色も楽しみたい、という要望に応えるため、前輪の回転角速度を一定に保つクロソイド曲線が道路設計にはじめて導入されます。

最新技術を駆使したやまなみハイウェイは、開通以降、有料でしたが、30年後の平成6年(1994)に全線無料開放されました。



秋の久住高原ロードパーク

コラム  
COLUMN

### 長者原に 残された殉職者の慰霊碑

標高の高い山岳道路であるやまなみハイウェイ建設工事は、寒冷と火山性地質で難工事の連続でした。建設に関わった人は延べ57万7千人、殉職者は14人に上りました。

長者原ビジターセンター向かいの駐車場には、殉職者の慰霊碑が建てられています。



慰霊碑

# 1 阿蘇火山

area

## 周囲約128km。 世界最大級の 阿蘇活火山

阿蘇山とは阿蘇五岳を中心とした東西にのびる連山を指すことが多いのですが、広い意味では周囲約128kmの外輪山と火口原を含む呼び名です。

この火口原には現在、約5万人が暮らしていて、阿蘇市、高森町、南阿蘇村

の3つの自治体があり、田畑が広がり、道路や鉄道が通っています。



大観峰から望む阿蘇五岳



米塚



## 阿蘇中岳火口では地鳴り、 噴煙に驚嘆。 大自然の息吹を実感

標高1,506mの中岳に登り、噴火する火口を直接のぞき込むことができます。巨大な火口は直径600m、深さ130m、周囲約4km。溶岩の岩肌がむき出しになり、火口湖がエメラルドグリーン of 幻想的な姿を見せてくれます。激しい噴煙や地鳴りからは、大自然の力強さと地球の息吹が、直接肌で感じられます。

※火口への立ち入りは、事前に「阿蘇火山防災会議協議会」のHPでご確認ください。



① 阿蘇中岳火口

## 阿蘇火山の全貌を 学ぶことができる展示施設

草千里ヶ浜の脇にある「阿蘇火山博物館」は、多彩な資料展示によって火山の全貌を学ぶことができます。中岳火口壁に設置したカメラで、火口の状況が観察できるワイドスクリーンは、臨場感いっぱいです。阿蘇山上で自然をめぐる、ガイド付きトレッキングツアーも実施されています。



② 阿蘇火山博物館

阿蘇の大自然！  
すごか〜



阿蘇・あか牛 草原でのんびりと草を食べるあか牛。いかにも阿蘇らしい風景です。



阿蘇の野焼き 毎年、春先に草原の枯れ草を燃やし、草が芽吹くのを促します。

## 2 area 内牧温泉

### 良質で豊富な湯量を誇る、 阿蘇屈指の内牧温泉郷

正確な日本地図を作るため、文化9年(1812)、全国を実測して歩いた伊能忠敬が内牧宿に宿泊しました。その52年後の文久4年(1864)、勝海舟と坂本龍馬が泊まり、長崎を目指して旅立ったそうです。新たな時代の到来が迫っていたころのことでした。

内牧と聞くと、古くからの温泉地と思いがちですが、温泉が掘られたのは明



③ 阿蘇内牧温泉商店街

治30年(1897)のことでした。井戸を掘っていたら偶然、温泉が湧き出し、以後半年で49か所の泉源が掘削されます。泉質が良く、湯量も豊かで一躍、注目を集めました。

### レア肉と玉子の らま味が抜群のあか牛丼

阿蘇名物のあか牛は、脂分が少なくヘルシーそのもの。この肉をレアに焼いて、温泉玉子にからめて食べたら、最高です!道の駅や食堂で気軽に食べられます。



コラム  
COLUMN



### 人気沸騰中! 6軒の公衆浴場をはしごする 「町湯めぐり」

「うす霧や大観峰によりそひて朝がほのさく阿蘇の山荘」と、内牧で詠んだのは与謝野晶子でした。夏目漱石は小説『二百十日』に内牧温泉の宿を登場させ、ビールを注文した主人公に「ビールはござりませんばってん、恵比寿ならござります」と言う女中の滑稽な会話を記しています。

このように文人たちにも愛された内牧には、大きな旅館やホテルの他に公衆浴場が6軒もあります。人気の「町湯めぐり」で、好みの湯を探してみるのも楽しそうです。



④ 薬師温泉

好きな共同浴場を選んで入浴できる人気の「町湯めぐり」。この薬師温泉も6軒の町湯の一つです。



⑤ 福の神大黒天

内牧温泉の東、宝くじの当選祈願に全国から人々が訪れるという大黒天が鎮座しています。

### 愉快的な 大型遊具に感激!

阿蘇公民館の東側、広大な敷地に大型遊具が並ぶ「阿蘇内牧ファミリーパーク『あそ☆ピバ』」は、阿蘇五岳や内牧城をイメージしたカラフルなデザインが、遊び心を刺激します。ユニバーサルデザインに配慮したトイレも好評です。



⑥ 阿蘇内牧ファミリーパーク「あそ☆ピバ」

### 大草原で豪快に遊べば、 忘れられない感動になる

国道212号沿い、内牧交差点向かいの「阿蘇ネイチャーランド」では、熱気球やパラグライダー、ヨガなど阿蘇の自然を舞台にしたアクティブ・スポーツが体験できます。



⑦ 阿蘇ネイチャーランド(体験種目例)



## 肥後国一の宮の門前町で、湧水を愛でる水基(みづき)めぐり

阿蘇を開拓した健甞龍命(たけいわたつのみこと)とその家族神を祀る阿蘇神社は、肥後国一の宮として崇敬を集め、全国約500社に及ぶ分社の総本社です。門前に集まる商店街は湧水の宝庫であり、店それぞれが個性的な水場を設置しています。その数は30基を越え、たとえば銀行では「金運の水」を飲むことができるなど、愉快的な「水基めぐり」が体験できます。



一之神陵 健甞龍命の碑



8 金運の水



9 文豪の水

阿蘇ん水な湧水だけんたいが〜うまか!



## 熊本震災復興へ、未来へ

### 二度目の震度7で全壊した、由緒ある阿蘇神社の楼門

熊本地震は二度目の本震の揺れが強く、日本三大楼門に数えられる阿蘇神社の楼門は、この激震で全倒壊しました。

地震で全倒壊した国指定重要文化財の保存・修理工事は、これまで数例しかないと、慎重を期して入念に進められています。

### 回収した部材をできるだけ再利用

この修復工事は、文化財建造物保存技術協会の設計・監理の下、



拜殿一翼廊



熊本地震後の楼門 九州で最大規模を誇っていた高さ約18mの二層式総檜造りの楼門は、震度7の熊本地震の本震で全倒壊しました。

平成31年(2019年)3月までに楼門の解体保管・調査と、他の国指定重要文化財5棟の部分修理工事を終了しました。

全倒壊した楼門から約11,000点に及ぶ部材を回収し、できるだけ再利用する方向で部材を準備し、現在の再利用率は72%に達しています。

### 着々と進む保存・復元工事

楼門の復元工事では、令和2年(2020)7月に基礎部、翌年4月に1階の柱・梁、11月に1階小屋組と順に仕上がっていき、令和3年(2021)3月末までに8,000点近くの部材の再

築を終えています。

今回の工事で最も難しいのは、震度7の地震にも耐えられるよう、従来はなかった耐震鉄骨を復元した骨組の中に納めることでした。

楼門は2階屋根部の骨組を終え、令和4年(2022)9月には再上棟が無事行われました。竣工は令和5年(2023)12月の予定で、着々と進められています。



楼門前で行われる火振り神事



御田祭(阿蘇神社) 阿蘇神社に祀られる12の神々が4基の神輿に乗り、青田をめぐって生育具合を見て回る行事であり、全身白装束の女性がお供をします。



# 3 area 坂梨

## 交通の要衝として栄えた坂梨宿の面影を残して

かつては豊後街道の宿として、また高千穂へ向かう日向往還の追分として、交通の要衝でした。宿場には、武士や商人、駕籠や荷車などが行き交い、近

郷近在から産物が集まり、大いににぎわいました。その痕跡に坂本龍馬や勝海舟、伊能忠敬の来訪碑が残っています。

しかし、昭和時代の初期に豊肥本線が開通すると、従来の宿駅の役割を終えることになりました。その後、国道の整備が進みましたが、幸い旧街道を避けたルートが選ばれたため、宿場の風情が漂う、落ち着いた街並みが残され、いまに受け継がれています。



10 坂梨手永会所跡  
宿場通りから細道を行くと、かつての小学校跡地に坂梨手永会所の石碑が残されています。



11 天神橋(めがね橋)  
肥後・種山石工の名棟梁・卯助が手掛けたアーチ型の石橋は、ゆがみもなく現役で活躍中です。



12 大黒屋



13 宿場町の風情を伝える白壁の街並み

## 阿蘇の東外輪山の麓、豊かな伏流水が湧く里

この地は東外輪山の麓に位置しているため、豊かな伏流水に恵まれています。清らかな湧水は田畑を潤し、飲料や生活水にも活用され、日々の暮らしを心地よく支えています。かつての宿場通りの中央、石造りの端麗な眼鏡橋も、澄み切った流れを跨いで架けられています。

明治維新後、この坂梨付近でも西南の役の戦いがあり、薩摩軍の本陣が置かれた大黒屋も残されています。



14 三つの石碑  
勝海舟と坂本龍馬、伊能忠敬、高山彦九郎の来訪碑があります。



坂梨宿場街道散策図 坂梨公民館の車道側に、かつての坂梨宿に軒を連ねた商家の案内図が掲げられています。

## 出入りする旅人や物資を厳しく見張る坂梨番所

坂梨宿の出口近くに、十三里木の石碑が立っています。つまり、ここが豊後街道の起点、熊本市の「札の辻」から東へ十三里、約52kmの場所、ということになります。



⑬十三里木の石碑

肥後熊本藩は、南北東の3方向が他藩と接して陸続きのため、出入りする人や書物、物資などを厳しく取り調べる必要に迫られ、領内に4関所が配置されました。坂梨番所もその一つであり、それほど多くの人々が滝室坂を上り下りしていたことがうかがえます。



滝室坂の石畳

阿蘇の冬はさむかよ〜

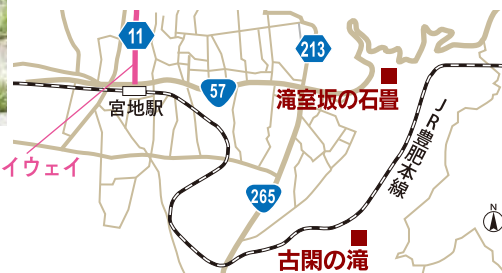


## 大自然が刻む迫力の美しさ。巨大な氷滝となる古閑の滝

坂梨の南東の山裾に、外輪山の断崖を流れ落ちる「古閑(こが)の滝」があります。毎年、真冬になると阿蘇谷から吹き上げられた冷風によって凍り付き、落差約80mの雄滝、落差約100mの雌滝が巨大な氷滝となります。大自然が刻む迫力の造形美であり、1月中旬から2月末までの毎週土曜の夜にはライトアップが行われ、昼間とはまた違った幻想的な滝の姿を見ることができます。



古閑の滝



## 土木遺産

流れ落ちる水が美しいレース模様を描く

はく すい ためいけ えん てい

## 白水(溜池)堰堤

白水堰堤  
【土木遺産in九州】



竹田市南郊の溪谷に位置し、昭和13年(1938)に完成した白水(溜池)堰堤は、地域に農業用水と電力を供給しています。堤高は14.1m、堤頂の長さは87.26mの重力式コンクリートダムです。この地域の弱い地盤を考え、水

が急に落下しないよう配慮した構造となっています。

流速を制御するため、曲線を取り入れた堤体の優美さ、階段状になって落ちる水「転波」が描くレース模様の華麗さに、誰もが驚くはずです。大分県初の昭和の近代遺産として国の重要文化財に指定されています。





石橋水路橋で日本の長さを誇る  
明正井路第一拱石橋

大野川流域の奥豊後  
 一帯は、昔から灌漑用水路の掘削が盛んでした。  
 大正8年(1919)に架けられた明正井路第一  
 拱石橋は、橋長78mの6  
 連石造アーチ橋。現役の  
 水路橋では国内最長を  
 誇り、布積みの端正な壁  
 石が、ローマの導水遺跡  
 を思わせる重厚さです。  
 橋下に竹田から高千穂  
 に通じる道路や緒方川  
 が走っています。



明正井路第一拱石橋  
【土木遺産in九州】



■ 熊本震災復興へ、未来へ

滝室坂道路(トンネル)で豪雨や震災にも強く！

坂梨地区の近くの古  
 閑の滝が、冬場に氷室の  
 ごとく凍り付くことから付  
 けられた地名が「滝室  
 坂」です。

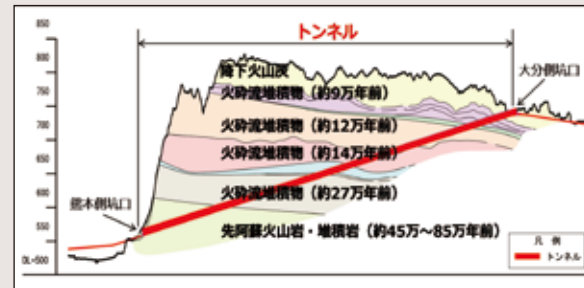
ここを不規則なカーブ  
 を描き登坂する国道57  
 号では、平成24年7月の  
 豪雨による斜面崩壊など  
 の災害を受け、度重なる  
 通行規制を余儀なくされ  
 ました。

このため、現国道の復  
 旧に加え、代替路として  
 北側に4.8kmのトンネ  
 ルを含む“滝室坂道路  
 (6.3km)”を平成25年  
 から事業着手しました。

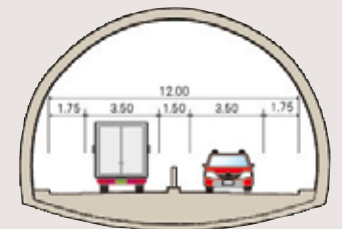
特筆するのは、工事箇  
 所が阿蘇カルデラ壁の  
 急峻な斜面に位置し、過  
 去4回の阿蘇山大噴火  
 による分厚い火山灰堆  
 積層を有する地山への  
 対応です。

このため、現地で事前  
 の地質(水脈)調査・試験

を施し、掘削時の変形、湧水を予測した施工方法を入念に仕立てて臨みました。  
 将来、“中九州横断道路”計画へ期待を膨らませる事業となりました。



トンネル区間 単位：m



出典：国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所ホームページより

# 4 area 産山・瀬の本

## 草原を走るミルクロードから、絶景満喫の大観峰へ

やまなみハイウェイからミルクロードに折れ、大観峰へ。明治の作家・徳富蘇峰が、この地の名付親です。

稜線の形がお釈迦様の寝姿に例えられる阿蘇五岳、緑の田園が広がる阿蘇谷、東西のカルデラ壁を見晴らす雄大な展望が満喫できます。



16 朝のミルクロード

## 水と緑の郷・産山。池山水源で貴重な足水体験

瀬の本高原の手前で県道40号へ折れ、東に向かうと産山・瀬の本エリアです。

くじゅう連山の南西部に、日本名水百選に選ばれた池山水源があります。湧水量が毎分30tもあり、樹齢200年を超えた杉林に囲まれた水源は、涼やかな美しさです。水源の散策路の脇では足水体験ができ、駐車場の下に専用の水汲場も設けられています。



17 池山水源

## 山吹水源から水を引いた美しい扇棚田の風景

池山水源の東、太古の原生林に囲まれた山吹水源があります。湧水池に浮かぶ島には小さな祠が祀られ、神秘的な雰囲気です。この水を引いた扇棚田では、全国棚田百選に選ばれた美しい曲田が連なる姿を見せてくれます。



19 山吹水源



18 扇棚田

## 多彩な湯が豊富に充実した温泉マニアの理想郷

高原道路の沿線は、温泉好きにはたまらないユートピアです。

「入湯手形」が人気の黒川温泉、九州で最も高い泉源の星生(ほっしょう)温泉、摂氏14度の冷泉が湧く寒の地獄、高さ約3mの打たせ湯がある筋湯温泉など、感動必至です。



21 黒川温泉

## 東西方向への分岐点。高原の観光拠点・瀬の本

やまなみハイウェイと国道442号がクロスする瀬の本は、小国や竹田への分岐点です。

高原らしい土産品や魅力ポイントの情報などが入手できる、三角屋根が目目を引く「瀬の本レストハウス」もあり、快適で便利な観光拠点として、四季を通してにぎわいます。



22 瀬の本高原

## 高原野草の花々が咲き誇るヒゴタイ公園

山吹水源の北の渓谷に広がるヒゴタイ公園は、標高約900mに位置し、夏のヒゴタイ、キスミレをはじめ、春はハルリンドウ、秋はコスモスが咲き、四季折々の自然を楽しむことができます。ヒゴタイは古代中国大陸から分離した九州に、高原植物の種が当地の気候に唯一合った植物群落の一つです。



20 ヒゴタイ(ヒゴタイ公園)



# 5 area 久住高原



久住高原のミヤマキリシマ

## 四季それぞれに、魅力あふれる自然が待っています

九州の屋根といわれるくじゅう連山の南麓、標高約600~1,100mに広がる久住高原は、数百年に及ぶ野焼きによって守られ、貴重な植物も数多く生息しています。

ミヤマキリシマが咲き誇る春、新緑まばゆい初夏、野山が紅葉に染まる秋、幻想的な雲海に包まれる晩



夏の久住高原



秋のくじゅう連山

秋の早朝など、趣の異なる風景が時とともに移り変わっていきます。

なかでも県道669号沿いの沢水(そみ)展望所では、さえぎるものが何もない、格別なパノラマビューに出会えます。



24 日田往還の松並木  
くじゅう花公園の近くには、日田と竹田を結ぶ日田往還の松並木が残され、江戸時代の街道の様子がしのべれます。

## 年間を通していろんな花々が咲く、華やかな景色

国道442号沿い、東京ドーム約4つ分の敷地に、「くじゅう花公園」があります。年間約500種、約500万本の花々が咲き、色鮮やかな花の絨毯が広がる景色は感動的です。花の香りをテーマにしたショップや自然食レストランもあります。



23 くじゅう花公園

## 久住高原の秘湯、ラムネ湯のある七里田温泉

くじゅう連山の東にあり、秘湯とも言える七里田温泉は立ち寄り湯です。露天風呂も完備した木乃葉の湯と、泡が肌につき、パチパチ弾ける炭酸泉の下湯が人気。どちらも天然掛け流しです。



26 七里田温泉

### コラム COLUMN

## 大自然の中で貴重なミルクをじっくり堪能

県道669号沿いに広がる「ガンジー牧場」では、ふれあい牧場やレストラン、ドッグランなども完備しています。黄褐色と白の斑模様の特徴のガンジー牛は、日本では数百頭しか飼育されていない品種で、搾乳量がホルスタイン牛の約半分といえます。その貴重なミルクを使ったソフトクリームはまさに絶品です。



25 ガンジー牧場

よか景色とうまか空気  
ほんなこつ 極楽! 極楽~!!



# 6 area 牧ノ戸・長者原

## 雄大なくじゅう連山への登山基地となる牧ノ戸峠

やまなみハイウェイの最高地点である牧ノ戸峠は、標高1,330mに位置します。くじゅう連山への登山道の入り口があり、シーズンには大勢の登山客でにぎわいます。レストハウスはツーリングやサイクリングで通る人々の絶好の休憩地ともなっています。

登山道の反対側、道脇に「岸道三(きしみちぞう)君之碑」が立っています。日本

道路公団の岸道三・初代総裁が、「自らこの地を踏査され九州横断道路の実現に努力されました」と刻まれ、その功績が今に伝えられています。



28くじゅう連山



39 エル・ランチョ グランデ 看板



34 オートキャンプ場 高原の里



33 九州芸術の杜



27 岸道三君之碑

## くじゅう地域の自然を学べる「長者原ビジターセンター」

くじゅう連山の西麓、自然体験や温泉の施設が集まる長者原は、高原周遊の情報拠点です。噴煙を上げる硫黄山、三俣山が目の前に迫る景観は、きっと思い出に刻まれることでしょう。

くじゅうの自然を写真やハイビジョン映像などで詳しく紹介する「長者原ビジターセンター」は、見逃せない施設です。くじゅうの歴史や生態系、タデ原フィールドガイドなど、見応えのある展示が充実しています。



30 長者原



29 長者原ビジターセンター

## 山麓湧水池に整備されたタデ原湿原の木道散策

ビジターセンターの1階から、くじゅう連山を背景に広がるタデ原湿原へ出ることができます。湿原には自然研究路として木道が整備され、「絶景コース：約800m」、「1周満喫コース：約1,500m」、「草原・森もりコース：約2,500m」が楽しめます。この湿原は平成17年(2005)に久住町の坊ガツル湿原とともに、水鳥の生息地として国際的に重要な湿原を選定する「ラムサール条約」に登録されています。



31 タデ原湿原

コラム  
COLUMN

## 動物とのふれあいやパン作りも楽しめる

九重高原にある「国立公園くじゅうやまなみ牧場」は、馬やウサギ、アヒルなど、多くの動物たちと触れ合える『ふれあい広場』をはじめ、『引き馬乗馬』や『パン作り体験』など、さまざまな体験ができる観光牧場です。



32 くじゅうやまなみ牧場

---

## 各施設の問い合わせ先

---



阿蘇市観光協会  
tel. 0967-34-1600



阿蘇神社社務所  
tel. 0967-22-0064



阿蘇山上ビジターセンター  
(阿蘇火山博物館1階)  
tel. 0967-34-2111



(一社)うぶやま未来ラボ  
産山村観光協会  
tel. 0967-25-2200



国立公園  
くじゅうやまなみ牧場  
tel. 0973-73-0080



九重町観光協会  
tel. 0973-73-5505



長者原ビジターセンター  
tel. 0973-79-2154



阿蘇くじゅう国立公園  
九州地方環境事務所  
tel. 096-322-2412



土木遺産 in 九州  
(一社)九州地域づくり協会  
tel. 092-476-5680

---

## ◆ 参考文献 ◆

『豊後街道を行く』松尾卓治著・弦書房・2006年10月発行／『九州横断の道 阿蘇くまもと路』／ルートガイド編纂委員会著・九州風景街道推進会議・2017年12月発行／『熊本地震復興へ プロジェクト九州7巻』玉川孝道編著・一般社団法人九州地域づくり協会・2017年8月発行／『熊本県の歴史散歩』熊本県高等学校社会科研究会編・(株)山川出版社・1993年6月発行／『熊本を歩く』<磯あけみ編著・(有)海鳥社・1987年6月発行／『九重花便り』上野哲郎著・不知火書房・1988年7月発行／『加藤清正のすべて』<安藤英男編著・新人物往来社・1993年4月発行／『詳説日本史(新版)』<井上光貞編著・(株)山川出版社・1984年3月発行／『[歴史群像]名城シリーズ② 熊本城』太丸伸章編・(株)学習研究社・1994年8月発行

## ◆ 写真提供 ◆

熊本県観光連盟／阿蘇市経済部観光課／(公社)ツーリズムおおいた

## ◆制作・発行◆

一般社団法人九州地域づくり協会 令和4年(2022)10月発行

ご注意:本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはできません。

非売品